

## 世界獣医師会大会 2025 が アメリカ (ワシントン D.C.) で開催されました！

世界獣医師会大会 2026 が来年の 4 月 21 日から東京で開催されること、日本での開催は 31 年ぶりになることはこのコーナーなどを通じて皆様にお伝えしてきておりますが、世界獣医師会大会は毎年世界のどこかの都市で開催されています。ここで今年の大会が気になった皆様に (気にならなかった皆様にも)、本年 7 月の 18～20 日にかけてアメリカのワシントン D.C. で開催された世界獣医師会大会 2025 についてご報告します。

ワシントン D.C. といえばアメリカの首都として毎日のようにニュースで見かけるお堅い街というイメージだったのですが、訪れてみると整然としつつも緑が多い美しい街でした。また、皆様の中にはポトマック川沿いの桜や 4 月の桜まつりを思い起こす方もいるかと思えます。ワシントン D.C. の桜の多くは東京からの贈りものだそうで、日本と深い縁がある街でもあります。とはいえ 7 月下旬に桜など咲いているはずもなく、ワシントン D.C. は 34℃ 超えの猛暑でわれわれを迎えてくれました。また、用務の関係でわれわれに半日ほど遅れて到着する予定だった藏内会長は、乗り換えのシカゴ空港で 13 時間も足止めされ空港のベンチで夜を明かすこととなりましたが、アメリカ獣医師会の代表者会議での挨拶ではそれを逆手にとったユーモアで聴衆を引き付けておりました。

今年の世界獣医師会大会はアメリカ獣医師会の主催により、アメリカ獣医師会大会と併せて行われました。ホワイトハウスの程近く、アメリカの首都が誇る巨大なコンベンションセンターであるウォルター E. ワシントンコンベンションセンターを中心とした施設が会場となり、世界獣医師会大会の閉会式の前には歌手のメーガン・トレイナーによるコンサートも開催されるなど、合計 7,800 名 (AVMA 公式ウェブサイトより) が参加する盛大な大会となりました。日本は次期開催

国ということで、アメリカ獣医師会や東京都、東京観光財団様のご支援もいただきながら、ブースの出展や、世界獣医師会の理事会や総会、閉会式での PR などを行ってきました。

アメリカ獣医師会のご厚意により会場のほぼ中央に陣取らせてもらうことができた日本獣医師会のブースでは、東京観光財団の皆様から浮世絵をあしらったトートバッグや、ピンバッジなどさまざまなグッズを用いて参加者にしっかりと「東京」を印象付けていただきました。また、世界獣医師会の評議員会では冒頭に少し時間をいただいて東京大会のプロモーショングッズを配布しましたし、翌日の総会では世界各国からの代表者に向けて動画なども使いながら東京大会のコンセプトやテーマ、準備状況などについての報告を行いました。

世界獣医師会大会の最終日となった 7 月 20 日の夜にワシントン D.C. の川辺に浮かぶ特設ステージで行われた閉会式では、今大会の開催地であるアメリカ獣医師会のフェイ会長から次回開催地である日本獣医師会の藏内会長に世界獣医師会の旗が手渡された後、東京都の小池百合子都知事が登壇しました。小池都知事は、「ワンヘルス」をテーマに準備を進めている 2026 年の東京大会の開催地の首長として、東京の魅力を紹介するとともに、当会と連携し、世界中の獣医師の皆様をお迎えしたいとご挨拶をされました。小池都知事の挨拶の次には藏内会長からの挨拶が予定されていたのですが、司会を務めた世界獣医師会のジョン会長のミス (ジョン会長によるとシナリオの誤りだそうですが、後日お詫びの文書が届きました。) により、小池都知事の挨拶の後すぐに 15 分ほどの太鼓パフォーマンスが始まってしまい、この太鼓パフォーマンスの終了後に改めて藏内会長が登壇して挨拶をするというハプニングもありました。

こうした一つ一つの取組を通じて、世界中の多

くの方に 2026 年 4 月 21 日からの世界獣医師会東京大会が印象付けられたものと考えています。本大会を通じて多くの皆様とお話をする中で強く感じられたのは「日本」という国に対する関心や興味の高さです。東京が世界で一番ミシュランの星の数が多い都市というのは有名なお話ですが、寿司などの和食をはじめとした食文化、浮世絵に代表される日本の伝統美術、そして今も世界第 4 位の GDP を誇る経済とテクノロジーが強く世界の皆さんの心を掴んでいることを、東京大

会を心待ちにするひとりひとりの表情や言葉から直接知ることができたこともアメリカでの大会の一つの成果と感じています。

2025 年の世界獣医師会大会が無事終了しましたので、次はいよいよ東京の番です。世界各国からの期待をしっかり受け止めて東京大会を成功させるためにも、参加者全員に楽しんでいただけるような印象に残る、価値のある大会にしていきたいと考えております。皆様のお力添えを何卒よろしくお願いいたします。



◀ 写真 1  
WVA 総会後の集合写真



▲写真 2：左からマーク・シップ元 WOAH 総会議長（オーストラリア）、ラファエル・ラガンズ元 WVA 会長（スペイン）、エマニュエル・スベラン WOAH 事務局長（フランス）、藏内会長、石橋理事、伏見専務理事



▲写真 3：メーガン・トレイナーのコンサートの様子。本コンサートのスポンサーはベーリンガーインゲルハイム社でした。



写真 4 ▶  
世界獣医師会の会旗がアメリカから次回開催国の日本へ。左から、ジョン・デ・ヨン世界獣医師会会長、小池百合子東京都知事、藏内会長



▲写真 5：藏内会長による閉会式の挨拶の様子